

今年度のテーマ

AIに負けないで 先生言葉には力がある
～保護者の背景や思いを引き出すスキルを身につけよう～

交流会の内容

- (1)アイスブレイク
「しつこい」、「言うこときかん」をリフレーミングしてみよう
- (2)演習「保護者からの悩みや相談エピソードを基に様々な観点からロールプレイしてみよう！」
2つのエピソードを使って、それぞれのやり取りの中から学びを深め合いました。
- (3)お便り交流
お便りを持ち寄って見合い、良いところを伝えたり、情報共有をしました。



リーダーより

- ・保護者から相談を受けると、つい答えを出さなければと思ってしまいがちだが、そうではなく、保護者が「何に困っているのか」を考えることが大切だと思った。
- ・グループ内では、たくさんの意見が出ていた。一方で、アイスブレイクで行ったリフレーミングを、協議の中でも活用できれば、さらに異なる視点から意見を深めることができたのではないかと思った。
- ・グループ内でお互いに意見を出し合いながら、あたたかい雰囲気の中で考えることができたと思う。同じグループになった参加者と横のつながりができたことがよかった。

アドバイザーより

- ・保護者と関わる際には、表面には現れない保護者の思いを、言葉や様子から感じ取り、引き出していくことが大切。
- ・保護者も子どもと一緒に「親」として育っているということを心に留めておきたい。誰かに助けをもらいたいと感じたときに、「この園・この先生に相談すれば大丈夫」と思ってもらえるような、安心して頼ることのできる存在になってほしい。